

栗山町立小・中学校教職員の時間外在校等時間に係る状況

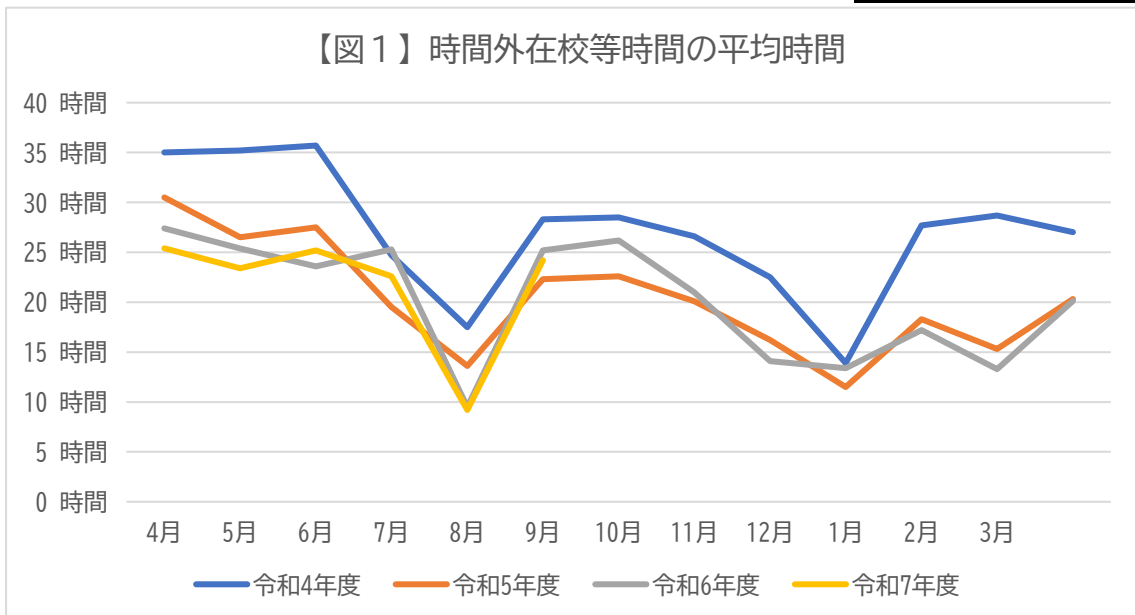
《 令和4年4月～令和7年9月 》

栗山町教育委員会では、北海道教育委員会が示す「学校における働き方改革アクション・プラン」に基づいて「栗山町アクション・プラン」を作成し、各学校における働き方改革の推進に取り組んでいるところです。つきましては、令和4年4月～令和7年9月の「教職員の時間外在校等時間」の実態について、次のとおり取りまとめましたのでお伝えいたします。

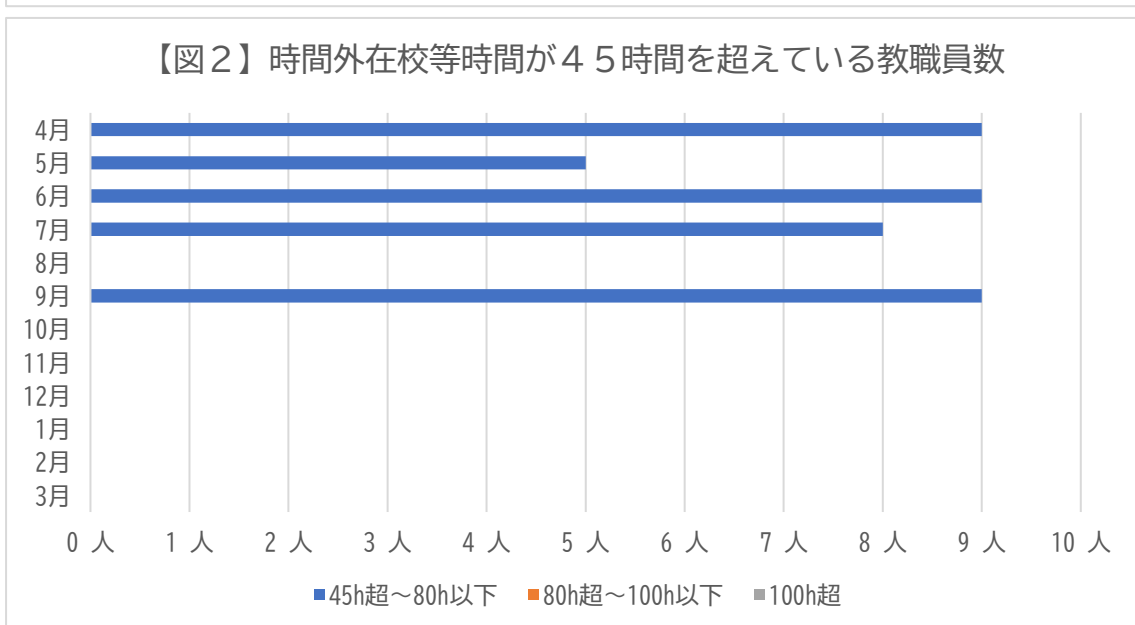
◆調査対象：栗山町立小・中学校4校の校長・教頭・主幹教諭・教諭・養護教諭・栄養教諭・事務職員

◆達成目標：1か月の時間外在校等時間45時間以内！ （教職員数…R4:77名、R5:78名
R6:76名、R7:74名）

【図1】時間外在校等時間の平均時間



【図2】時間外在校等時間が45時間を超えている教職員数



◆調査結果

*【図1】 今月も「1か月の時間外在校等時間45時間以内」を達成することができました。

⇒1月の超過時間は【24.2時間】で、前年度より減少しています。

⇒達成目標値は、HPに掲載してから【42か月間】連続でクリアしています。

*【図2】 9月は、「45時間超」が9名、「80時間超」「100時間超」は0名でした。

⇒9月については、学校祭や前期期末テストとの準備等が重なったこともあり、中学校において時間外在校等時間が45時間を超過した教職員が多くなりました。また、小学校においても、教頭先生に時間超過の傾向があり、継続課題としています。